

第1回地域懇話会 議事概要

- 日時 2023（令和5年）3月24日（金）18:30～20:10
- 場所 広島市南区役所別館4階大会議室
- 参加者 「地域懇話会委員名簿」のとおり

○ 議題

- (1) 「高度医療・人材育成拠点基本構想」について
- (2) 医療機関再編による影響について
- (3) 「高度医療・人材育成拠点基本構想」及び医療機関再編による影響に係る意見交換

○ 議事概要

【県からの説明】

(1) 高度医療・人材育成拠点構想について	高度医療・人材育成拠点の整備により、目指す姿として「全国トップレベルの高度医療の提供」と「医療人材の確保・育成」、「地域医療体制の確保」の好循環を創出することを説明し、基本構想の意義について理解を求めた。
(2) 医療機関再編による影響について	○救急搬送について、距離と時間の観点から影響を検証した。 ⇒再編によって病院までの距離が長くなる地区があるものの、新病院の“断らない救急”により、多くの地域で搬送時間の短縮を図ることが可能ではないか。 ○外来医療について、代替機能の有無について検証した。 ⇒中電病院のほとんどの疾患は、近隣の他の医療機関において対応できるのではないか。 ⇒一方で、県立広島病院の一部の疾患については、同病院の移転後、近隣の他の医療機関での対応には限界があるのではないか。

【地域からの意見】

基本構想について	○新病院ができることにより、より良い環境ができることになるので、中電病院が移転し新病院に集約することについては、賛成である。 ○新病院の整備により、高度な医療が提供できるようになることや、これまで広島県にないこども病院のような機能ができることは良いことであり、期待している。 ○他県での再編統合における類似の取組事例はどのようなものがあるのか。 ○新病院を整備する前に、広島県の医療体制の課題については、なぜこのような状態になったか、これまで課題解決に向けてどのような取り組みをしてきたのか説明を求めたい。
----------	--

<p>医療体制への不安について</p>	<p>○県立広島病院がなくなることで、高齢者を中心に住民への不安があり、県立広島病院がなくなることについては、反対である。県立広島病院は残したままで、新病院の整備を進めてもらいたい。</p> <p>○県立広島病院の患者の約3割が南区の住民であり、この方々にとって、「駅北」という立地はアクセスが非常に難しいという問題があるのではないか。</p> <p>○緊急時は少しでも早い搬送をしてもらいたい、「駅北」では陸橋などが渋滞しており、すぐに搬送ができなくなるのではないか。</p>
<p>跡地に残す医療機能について</p>	<p>○住民は県立病院の医師を信頼しており、跡地には民間ではなく、県立病院として残してほしい。</p> <p>○県立広島病院が移転したあとに医療のレベルが落ちないように、また、地域が歓迎できるような機能を検討してほしい。</p> <p>○入院が必要な高度な機能は新病院で行うが、外来や在宅医療・介護などは新病院で行うべきではなく、そうした機能が移転後の跡地に必要となるのではないか。</p> <p>○南区の医師会員へのアンケートの結果、反対の意見は4割程度。南区に医療機能が残ることを要望する。</p>

【有識者からの意見】

<p>○若い医師は良い医療がやりたいので、そうした医療環境を整備することは必要である。医療従事者の声も聴いてほしい。</p> <p>○今回の構想により良い影響、悪い影響が生じるが、悪い影響をいかに最小にしていけるかを考え、何を残すのか考えていく必要がある。</p> <p>○今後もデータを分析・提示し、住民の理解をさらに進めていく必要がある。</p> <p>○広島高速5号線が開通すれば、広島市の南部方面から広島駅北側への緊急時アクセスは改善されるのではないか。</p>

【病院長からの意見】

<p>○県立広島病院はコロナ患者を受け入れてきたが、マンパワーが不足し、危機的状況であった。次のパンデミックに対応するためにもマンパワーの集約は必要である。</p> <p>○現状の課題や今後の状況を踏まえれば、医療機関の集約をしなければならない。</p>

以上